

515-002 1 / 6

作成・改定日 150829

安全データシート

整理番号 515-002-160316

1. 化学品及び会社情報

製品の名称 4 times レベルコート低温 NO. 2 クリヤー
 製品コード B15-002
 会社名 久保幸ペイント株式会社
 住所 大阪府東淀川区西横路4丁目15番27号
 担当部門 研究技術部
 電話番号 06-6815-3111
 ホームページアドレス <http://www.kuhoko.co.jp>
 製品の種類 アクリル樹脂塗料

担当省名
 FAX番号
 緊急連絡先
 主な用途

研究技術部長
 06-6323-6881
 06-6815-3104
 金属用、その他

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

引火性液体 : 区分3
 急性毒性 吸入(蒸気) : 区分4
 皮膚腐食性及び刺激性 : 区分2
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分2
 発がん性 : 区分1
 生殖毒性 : 区分1
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分1 (呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓)
 : 区分2 (全身毒性)
 : 区分3 (麻酔作用)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1 (呼吸器、神経系)
 : 区分2 (中枢神経系、感覚器、血液系)
 水生環境有害性(急性) : 区分2
 水生環境有害性(長期間) : 区分3

上記で記載がないものは、「区分外」、「分類できない」又は、「分類対象外」

【GHSラベル要素】

「絵表示」



「注意喚起語」

危険

「危険有害性情報」

引火性液体及び蒸気。
 吸入すると有害。
 皮膚刺激。
 強い眼刺激。
 発がんのおそれ。
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
 臓器の障害。
 眼気又はめまいのおそれ。
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。
 水生生物に毒性。
 長期継続的影響によって水生生物に有害。

「注意書き」

《安全対策》

容器を密閉しておくこと。
 熱/火花/標火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 容器を接地すること/アースをとること。
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 使用前に取扱説明書入手すること。

516-002 2 / 6

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと
 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。

《応急措置》

火災の場合： 消火するために炭酸ガス、泡または粉末消火器等を使用すること。
 皮膚（または髪）に付着した場合： 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を温水/シャワーで洗うこと。
 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚に付着した場合： 多量の水で洗うこと。
 特別な処置が必要である。
 皮膚刺激が生じた場合： 医師の診断/手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぐこと。再使用する場合には洗濯をすること。
 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合 医師の診断/手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合： 医師の診断/手当てを受けること。
 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

《保管》

換気の良い場所で保管すること。 涼しいところに置くこと。
 潮湿して保管すること。

《廃棄》

内容物/容器を行政の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量

成分名	CAS番号	含有量(wt%)	備考
メタン	1330-20-7	19	PRTR 1 種 (80)
エチルベンゼン	100-41-4	18	PRTR 1 種 (63)
メノール	87-66-1	0.1~1	
エノール	64-17-6	0.1~1	
1,2-エチレンジオール	67-43-0	1~10	
n-ブチノール	71-36-3	1~10	
1-ブチノール	78-83-1	0.1~1	
2-エチルヘキシルトリブチルエーテル	108-06-6	1~10	
アセトン	67-64-1	0.1~1	
ジメチルアセトン	108-10-1	1~10	
エチルアセト	60-00-0	0.15	PRTR 特定 1 種 (411)
アクリル酸メチルメタクリレート	141-32-2	0.1~1	

(元素名)

該当元素なし

4. 応急措置

《吸入した場合》

蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 蒸気、ガスを大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。
 呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。
 嘔吐物は飲み込まないこと。
 直ちに医師の手当てを受けること。

《皮膚に付着した場合》

付着物を布にて素早く拭き取る。
 大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
 溶剤、シンナーは使用しないこと。
 外観に変化が見られたり、刺激、痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
 汚染された衣類を取り除くこと。

《目に入った場合》

直ちに大量の清浄な流水で16分以上洗う。
 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 まぶたの裏まで完全に洗うこと。
 出来るだけ早く医師の診断を受けること。
 直ちに医師の診断を受けること。

《飲み込んだ場合》

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
 嘔吐物は飲み込まないこと。
 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

《応急措置をする者の保護》

適切な保護具（保護眼鏡、防護マスク、手袋等）を着用する。
 換気を行う。

5. 火災時の措置

《使用可能な消火剤》

炭酸ガス
 泡
 粉末

515-002 3 / 6

乾温砂

霧状強化液

《使用不可能な消火剤》

水（霧状水、高圧水）

霧状強化液

《消火方法》

適切な保護具（耐火性着衣など）を着用する。

安全に対処できるのであれば可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

指定の消火剤を使用すること。

高圧にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。

消火活動は風上より行う。

6. 漏出時の措置

《人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置》

作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。

周囲を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

風内では換気をしっかり行う。

屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。

付近の着火源・高温体及び可燃物を素早く取り除く。

着火した場合に備えて、適切な消火剤を準備する。

《環境に対する注意事項》

河川への流出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

《封じ込めおよび浄化の方法・機材》

漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、腐蝕物などは、関係法規に基づいて処置すること。

衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

乾温砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。

大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

《取り扱い上の注意》

換気の良い場所で取り扱う。

容器はその都度密検する。

周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。

工具は火花防止型のものを使用する。

静電気対策のため、装置等は設置し、電気機器類は防爆型を使用する。

使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。

閉鎖された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業すること。

取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

《保管上の注意》

日光の直射を避ける。

通気の良いところに保管する。

盗難防止のために施錠する。

子供の手の届かない所に保管する。

火気、熱源から遠ざけて保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

《管理濃度/許容濃度》

成分名	管理濃度	許容濃度 (TLV-TWA)	
		ppm	mg/m ³
シリコン	50ppm	100	
エチルベンゼン	20ppm	10	
メタノール	200ppm	200	252
エタノール		1000	1880
1,1,1-トリクロロエタン	200ppm	200	
n-ブタノール	25ppm	20	
1,1,2-トリクロロエタン	60ppm	50	
n-ブチルアルコール/メチルエーテル			
アセトン	500ppm	500	
メチルエーテル	20ppm	20	
メチルエーテル	0.1ppm	C 0.3	
アクリル酸/メタクリレート		2	

(注) Cは許容濃度閾値-上限値を表す

《設備対策》

取扱設備は防爆型を使用する。

排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。

液体の噴送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースをとるように設備すること。

取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれぬような設備とすること。

屋内塗装作業の場合は、自動換気装置等を使用する等作業者が直接暴露されない設備とすること。

局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備とすること。

S15-002 4 / 5

タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

《呼吸器の保護具》

有機ガス用防毒マスクを着用する。

密閉された場所では送気マスクを着用する。

《手の保護具》

有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

《目の保護具》

取扱いには保護メガネを着用すること。

《皮膚及び身体保護》

取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣服を着用すること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

B. 物理的及び化学的性質

状態	: 液体(溶剤)	色	: クリヤー	臭気	: 溶剤臭
pH値	: -	融点/℃	: -	沸点/℃	: 136.25~146
引火点/℃	: 24	爆発限界(下限)/vol%	: 1	爆発限界(上限)/vol%	: 7.0
蒸気圧/Pa(測定温度/℃)	: 933(20)	蒸気密度	: -	密度(比重)	: 1
溶解度(水に対する溶解度)	: 難溶	n-オクタノール/水分配係数	: -	その他	: -
自然発火温度/℃	: 432	分解温度/℃	: -		

10. 安定性及び反応性

《安定性》

常温付近では反応しない

《避けるべき条件》

高圧を避ける

《消滅危険物質》

酸化剤

《危険有害な分解生成物》

燃焼により一酸化炭素など有毒性ガスが発生する。

《その他の危険性情報》

特になし

11. 有害性情報

成分の健康有害性情報(危険有害物質を対象)

成分名	急性毒性				
	経口	経皮	吸入(ガス)	吸入(蒸気)	吸入(粉塵/ミスト)
キシレン	LD50 3500 mg/kg			区分4 LD50 6700 ppm	
エチルベンゼン	LD50 3500 mg/kg	LD50 15400 mg/kg		LD50 4000 ppm	
トリノール	LD50 1400 mg/kg	LD50 15800 mg/kg		LD50 >22,500 ppm	
エタノール	LD50 6300 mg/kg	LD50 20000 mg/kg		LD50 63000 ppm	
イソオクチルアルコール	LD50 4384 mg/kg	LD50 12870 mg/kg		LD50 27908 ppm	
n-ブチノール	LD50 2100 mg/kg	LD50 3400 mg/kg			LD50 24.2 mg/L
イソブチノール	LD50 2506 mg/kg	LD50 2523 mg/kg		区分4 LD50 6336 ppm	
n-オクチルアルコールモノメチルエーテルエーテート	LD50 >11,532 mg/kg	LD50 >6,000 mg/kg			
グセトン	LD50 >5,000 mg/kg	LD50 >5,000 mg/kg		LD50 32000 ppm	
メチルイソブチルケトン	LD50 2080 mg/kg	LD50 >18,000 mg/kg		区分3 LD50 2000 ppm	
メチルイソブチル	LD50 606 mg/kg	LD50 270 mg/kg	LD50 480 ppm		
トリメチルアセトン	LD50 3143 mg/kg	LD50 >2,000 mg/kg		区分3 LD50 1543 ppm	

成分名	皮膚経食・刺激	眼損傷・刺激	呼吸器感作性	皮膚感作性
キシレン	区分2	区分2A		
エチルベンゼン		区分2B		
トリノール		区分2		
エタノール		区分2B		
イソオクチルアルコール		区分2		

515-002 F / 6

エーブ・タノール	区分2	区分2 A		
イソブ・タノール	区分2	区分2 A		
グロビ・レンダ・リコーポモノメチルエーテルアセート		区分2 B		
アセトン		区分2 B		
メチルイソブチルケトン		区分2 B		
ホルムアルデヒド	区分2	区分2 A		区分1
アクリル酸ノルマルブチル	区分2	区分2 A		区分1

成分名	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性
ヒシレン			区分1 B
エチルベンゼン		区分2	区分1 B
メタノール			区分1 B
エタノール		区分1 A	区分1 A
イソブチルアルコール			区分2
エーブ・タノール			
イソブ・タノール			
グロビ・レンダ・リコーポモノメチルエーテルアセート			
アセトン			区分2
メチルイソブチルケトン		区分2	
ホルムアルデヒド	区分2	区分1 A	
アクリル酸ノルマルブチル			区分2

成分名	特定標的臓器(単回)	特定標的臓器(反復)	吸引性呼吸器有害性
ヒシレン	区分1 (呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓) 区分3 (麻酔作用)	区分1 (呼吸器、神経系)	
エチルベンゼン	区分2 (中枢神経系) 区分3 (気道刺激性)		区分1
メタノール	区分1 (中枢神経系、視覚器、全身毒性) 区分3 (麻酔作用)	区分1 (中枢神経系、視覚器)	
エタノール	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)	区分1 (肝臓) 区分2 (中枢神経系)	
イソブチルアルコール	区分1 (中枢神経系、全身毒性) 区分3 (気道刺激性)	区分1 (血液系) 区分2 (呼吸器、肝臓、脾臓)	
エーブ・タノール	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)	区分1 (中枢神経系、視覚器)	
イソブ・タノール	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)		
グロビ・レンダ・リコーポモノメチルエーテルアセート	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)		
アセトン	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)	区分2 (血液)	
メチルイソブチルケトン	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)	区分1 (神経系)	
ホルムアルデヒド	区分1 (神経系、呼吸器)	区分1 (呼吸器、中枢神経系)	
アクリル酸ノルマルブチル	区分1 (呼吸器)	区分1 (鼻腔)	

上記で空白のものは、「区分外」、「分類できない」又は、「分類対象外」

12. 環境影響情報

生態毒性 情報なし

残留性・分解性 情報なし

生体蓄積性 情報なし

土壌中の移動性 情報なし

成分の環境有害性情報(環境有害物質を対象)

成分名	水生環境有害性(急性)	水生環境有害性(長期間)	オゾン層への有害性
ヒシレン	区分2	区分2	
エチルベンゼン	区分1		
メタノール			

515-002 5 / 6

エポキシ			
エポキシ樹脂			
エポキシ樹脂			
エポキシ樹脂			
エポキシ樹脂/リコー/エポキシ樹脂/エポキシ樹脂			
エポキシ			
エポキシ樹脂/エポキシ樹脂			
エポキシ樹脂/エポキシ樹脂	区分2		
エポキシ樹脂/エポキシ樹脂	区分2		

上記で空白のものは、「区分外」、「分類できない」又は、「分類対象外」

1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物/汚染容器及び包装

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

廃棄物、廃液、廃油等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

環境に配慮し、空容器は内容物を完全に除去後、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

特別管理産業廃棄物（廃油）に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

1.4. 輸送上の注意

「共通」

取扱及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

「国内規制」

国連番号 : 1263

指針番号

: 128

《陸上輸送》

消防法、労働安全衛生法、毒物管理法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

荷送り人は運送業者に運搬注意書（イエローカード）を交付する。

《海上輸送》

船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。

《航空輸送》

航空法に定めるところに従うこと。

《その他》

「国際規制」

国連番号 : 1263

容積等級 : III

国連輸送名 : 塗料又は塗料関連物（引火性）

海洋汚染物質 : 非該当

国連分類 : クラス 3

1.5. 適用法令

労働安全衛生法施行令 : 危険物（引火性の物）

特定化学物質障害予防規則 : 特別有機溶剤等

有機溶剤中毒予防規則 : 第2種有機溶剤等

化学物質管理促進法 : 特定第1種指定化学物質

化学物質管理促進法 : 第1種指定化学物質

消防法 : 危険物 第4類 引火性液体 第2石油類 危険等級III [火気厳禁]

感熱防止法

労働安全衛生法 第28条第3項

労働安全衛生法 第57条（表示等）

労働安全衛生法 第67条の2（文書の交付等）

1.6. その他の情報

主な引用文献

☆SDS用化学物質データベース（日本塗料工業会）

☆GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック（混合物用（塗料用））（日本塗料工業会）

注意

☆このSDSは、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。

当該製品の危険・有害性に関する情報および評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。

ご使用者の責任において安全な取扱い方をお決め下さい。

☆このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。

☆記載内容の中で含有量、物理的、化学的性質などの値は当該製品の品質とは関係ありません。

☆このSDSに記載のデータは、当該製品を代表する値であり、保証値ではありません。

☆当該製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、

ご使用上において安全性の確認を行ってください。

☆この安全情報は国の規制を含む、日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていません。

安全作業や排出・廃棄等の場合に配慮すべきことは、当該自治体の規制に従い対処してください。

516-70632 1 / 7

作成・改定日 150828

安全データシート

登録番号 516-1000A-160316

1. 化学品及び会社情報

製品名称	4 times レベルコート低塩 メクリックシルバー	担当者名	研究技術部長
製品コード	516-70632	FAX番号	06-6323-5881
会社名	久保孝ペイント株式会社	緊急連絡先	06-6816-3104
住所	大阪府東淀川区西淀路3丁目15番27号	主な用途	金属用、その他
担当部門	研究技術部		
電話番号	06-6816-3111		
ホームページアドレス	http://www.kuboko.co.jp		
製品の種類	アクリル樹脂塗料		

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

引火性液体	: 区分3
急性毒性 吸入(蒸気)	: 区分4
皮膚腐食性及び刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分2
発がん性	: 区分1
生殖毒性	: 区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分1 (呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓)
	: 区分3 (神経作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1 (呼吸器、神経系)
	: 区分2 (中枢神経系、感覚器)
水生環境有害性(急性)	: 区分2
水生環境有害性(長期間)	: 区分3

上記で記載がないものは、「区分外」、「分類できない」又は、「分類対象外」

【GHSラベル要素】

「絵表示」



「注意喚起語」

危険

「危険有害性情報」

引火性液体及び蒸気。
 吸入すると有害。
 皮膚刺激。
 強い眼刺激。
 発がんのおそれ。
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
 臓器の障害。
 眼気又はめまいのおそれ。
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。
 水生生物に毒性。
 長期継続的影響によって水生生物に有害。

「注意書き」

《安全対策》

容器を密閉しておくこと。
 熱/火花/裸火/高温のものの様な着火源から遠ざけること。一禁煙。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 容器を接地すること/グースをとること。
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 使用前に取扱説明書入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

616-70632 2 / 7

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

《応急措置》

火災の場合：消火するために炭酸ガス、泡または粉末消火器等を使用すること。
皮膚（または髪）に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
特別な処置が必要である。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぐこと。再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
目の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
はく鼻又ははく鼻の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

《保管》

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施設して保管すること。

《廃棄》

内容物／容器を行政の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

：混合物

成分及び含有量

成分名	CAS番号	含有量(wt%)	備考
二酸化錫	18282-10-5	0.1~1	
酢化ビタ	13403-07-7	10~20	
キシレン	1330-20-7	12	PRTR 1 種 (80)
エチルベンゼン	100-41-4	10	PRTR 1 種 (63)
メノール	67-50-1	0.1~1	
エノール	64-17-5	0.1~1	
n-ブタノール	71-36-3	1~10	
イソブタノール	78-83-1	0.1~1	
酢酸ブタノール	123-86-1	1~10	
ブレンダリコルモノエチルエーテル	108-65-6	1~10	
ジエチルモノリコルモノエチルエーテル	112-34-5	1~10	
アセトン	67-64-1	0.1~1	
メチルイソブチルケトン	108-10-1	1~10	
ホルムアルデヒド	50-00-0	0.15	PRTR特定1種(411)
トリメチルアミン	141-32-2	0.1~1	

(元素名)

該当元素なし

4. 応急措置

《吸入した場合》

蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
蒸気、ガスを大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、脱かく安静にする。
呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
直ちに医師の手当てを受けること。

《皮膚に付着した場合》

付着物を布にて素早く拭き取る。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
溶剤、シンナーは使用しないこと。
外服に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
汚染された衣類を取り除くこと。

《目に入った場合》

直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
まぶたの裏まで完全に洗うこと。
出来るだけ早く医師の診断を受けること。
直ちに医師の診断を受けること。

《飲み込んだ場合》

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

《応急措置をする者の保護》

適切な保護具（保護眼鏡、防護マスク、手袋等）を着用する。
換気を行う。

5. 火災時の措置

《使用可能な消火剤》

炭酸ガス

616-70632 3 / 7

泡
粉末
乾燥砂
凝状強化液

《使用不可能な消火剤》

水（棒状水、高圧水）
棒状強化液

《消火方法》

適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。
安全に対処できるのであれば可燃性のものを周囲から早く取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。

6. 漏出時の措置

《人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置》

作業の際は適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
周囲を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
屋内では換気をしっかり行う。
屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。
付近の着火源・高温体及び可燃物を早く取り除く。
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

《環境に対する注意事項》

河川への流出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

《対応しめおおよび浄化の方法・備材》

漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理すること。
衝撃、静電気に火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。
大量の漏出には盛土で囲って流出を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

《取り扱い上の注意》

換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密栓する。
周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
工具は火花防止型のものを使用する。
静電気対策のため、装置等は設置し、電気機器類は防爆型を使用する。
使用済みのウエス、塗料カス、スプレーグースト等は廃棄するまで水に漬けておく。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業すること。
取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

《保管上の注意》

日光の直射を避ける。
通気の良いところに保管する。
盗難防止のために施錠する。
子供の手の届かない所に保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

《管理濃度/許容濃度》

成分名	管理濃度	許容濃度 (TLV-TWA)	
		ppm	mg/m ³
二酸化錫			2 (Sn)
酸化チタン			10
トルエン	50ppm	100	
エチルベンゼン	20ppm	10	
トリノール	200ppm	200	262
エタノール		1000	1480
n-ブタノール	25ppm	20	
イソブタノール	50ppm	60	
酢酸エチル	160ppm	160	
ブービレン/リコールモノメチルエーテル			
ジエチレン/リコールモノメチルエーテル			
アセトン	600ppm	600	
メチルイソブチルケトン	20ppm	20	
ホルムアルデヒド	0.1ppm	C 0.3	
アクリロニトリル		2	

(注) Cは許容濃度閾値-上限値を表す

《設備対策》

516-70532 4 / 7

取扱設備は防爆型を使用する。

排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。

液体の輸送、汲み取り、攪拌等の、装置についてはアースをとるように設備すること。

取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。

屋内換気作業の場合は、目防護装置等を使用する等作業者が直接暴露されない設備とすること。

局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備とすること。

タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

《呼吸器の保護具》

有機ガス用防毒マスクを着用する。

密閉された場所では逆気マスクを着用する。

《手の保護具》

有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

《目の保護具》

取扱いには保護メガネを着用すること。

《皮膚及び身体保護》

取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

状態	: 液体(溶剤)	色	: 指定色	臭気	: 溶剤臭
pH値	: -	融点/℃	: -	沸点/℃	: 136.25~144
引火点/℃	: 24	爆発限界(下限)/vol%	: 1	爆発限界(上限)/vol%	: 7.0
蒸気圧/Pa(測定温度/℃)	: 933(20)	蒸気密度	: -	密度(比重)	: 1.2
溶解度(水に対する溶解度)	: 難溶	n-オクタノール/水分分配係数	: -	その他	: -
自然発火温度/℃	: 432	分解温度/℃	: -		

10. 安定性及び反応性

《安定性》

常温付近では反応しない

《避けるべき条件》

高温を避ける

《混触危険物質》

酸化剤

《危険有害な分解生成物》

燃焼により一酸化炭素など有毒性ガスが発生する。

《その他の危険性情報》

特になし

11. 有害性情報

成分の健康有害性情報(危険有害物質を対象)

成分名	急性毒性				
	経口	経皮	吸入(ガス)	吸入(蒸気)	吸入(粉塵/ミスト)
二酸化錫					
酸化ナフ	LD50 >20,000 mg/kg	LD50 >10,000 mg/kg			LD50 >6.82 mg/L
キシレン	LD50 3500 mg/kg			区分4 LD50 5700 ppm	
エチルベンゼン	LD50 3500 mg/kg	LD50 15400 mg/kg		LD50 4000 ppm	
トルエン	区分4 LD50 1400 mg/kg	LD50 16900 mg/kg		LD50 >22,500 ppm	
エタノール	LD50 6200 mg/kg	LD50 20000 mg/kg		LD50 63000 ppm	
n-ブタノール	LD50 2100 mg/kg	LD50 3400 mg/kg			LD50 24.2 mg/L
イソブタノール	LD50 2695 mg/kg	LD50 2623 mg/kg		区分4 LD50 4336 ppm	
酢酸エチル	LD50 14130 mg/kg	LD50 >17,060 mg/kg			
プロピレングリコールモノメチルエーテル	LD50 >8,532 mg/kg	LD50 >5,000 mg/kg			
ジエチレングリコールモノメチルエーテル	LD50 5080 mg/kg	LD50 2764 mg/kg			
アセトン	LD50 >5,000 mg/kg	LD50 >5,000 mg/kg		LD50 32000 ppm	
メチルイソブチルケトン	LD50 2080 mg/kg	LD50 >16,000 mg/kg		区分3 LD50 2000 ppm	

516-70532 5 / 7

スルホンアミド・ヒド'	区分 4	区分 3	区分 2		
	LD50 805 mg/kg	LD50 270 mg/kg	LD50 486 ppm		
アクリル酸ノルボルネン・ブチル				区分 3	
	LD50 3143 mg/kg	LD50 >2,000 mg/kg		LD50 1643 ppm	

成分名	皮膚腐食・刺激	眼損傷・刺激	呼吸器感受性	皮膚感受性
二酸化錳				
酸化チタン		区分 2 B		
キシレン	区分 2	区分 2 A		
エチルベンゼン		区分 2 B		
メタノール		区分 2		
エタノール		区分 2 B		
n-ブチノール	区分 2	区分 2 A		
イソブチノール	区分 2	区分 2 A		
酢酸ブチル		区分 2 B		
ブロビレンガリコールモノメチルエーテルセテート		区分 2 B		
ジエチレンガリコールモノメチルエーテル		区分 2		
アセトン		区分 2 B		
メチルイソブチルケトン		区分 2 B		
スルホンアミド・ヒド'	区分 2	区分 2 A		区分 1
アクリル酸ノルボルネン・ブチル	区分 2	区分 2 A		区分 1

成分名	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性
二酸化錳			
酸化チタン			
キシレン			区分 1 B
エチルベンゼン		区分 2	区分 1 B
メタノール			区分 1 B
エタノール		区分 1 A	区分 1 A
n-ブチノール			
イソブチノール			
酢酸ブチル			
ブロビレンガリコールモノメチルエーテルセテート			
ジエチレンガリコールモノメチルエーテル			
アセトン			区分 2
メチルイソブチルケトン		区分 2	
スルホンアミド・ヒド'	区分 2	区分 1 A	
アクリル酸ノルボルネン・ブチル			区分 2

成分名	特定標的臓器(損傷)	特定標的臓器(回復)	吸入性呼吸器有害性
二酸化錳			
酸化チタン			
キシレン	区分 1 (呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓) 区分 3 (麻酔作用)	区分 1 (呼吸器、神経系)	
エチルベンゼン	区分 2 (中枢神経系) 区分 3 (気道刺激性)		区分 1
メタノール	区分 1 (中枢神経系、視覚器、全身毒性) 区分 3 (麻酔作用)	区分 1 (中枢神経系、視覚器)	
エタノール	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)	区分 1 (肝臓) 区分 2 (中枢神経系)	
n-ブチノール	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)	区分 1 (中枢神経系、視覚器)	
イソブチノール	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)		
酢酸ブチル	区分 2 (呼吸器、中枢神経系)		
ブロビレンガリコールモノメチルエーテルセテート	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)		
ジエチレンガリコールモノメチルエーテル	区分 2 (中枢神経系)		

616-70532 6 / 7

アセトン	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)	区分2 (血液)	
メチルエチルケトン	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)	区分1 (神経系)	
ホルムアルデヒド	区分1 (神経系、呼吸器)	区分1 (呼吸器、中枢神経系)	
トリクロロエチレン	区分1 (呼吸器)	区分1 (鼻腔)	

上記で空白のものは、「区分外」、「分類できない」又は、「分類対象外」

12. 環境影響情報

生態毒性 情報なし

残留性・分解性 情報なし

生体蓄積性 情報なし

土壌中の移動性 情報なし

成分の環境有害性情報(環境有害物質を対象)

成分名	水生環境有害性(急性)	水生環境有害性(長期間)	オゾン層への有害性
二酸化炭素			
酸化ナトリウム			
キシレン	区分2	区分2	
エチルベンゼン	区分1		
メタノール			
エタノール			
n-ブタノール			
イソブタノール			
酢酸ブタノール	区分3		
ジエチルグリコールモノメチルエーテル			
ジエチルグリコールモノブチルエーテル			
アセトン			
メチルエチルケトン			
ホルムアルデヒド	区分2		
トリクロロエチレン	区分2		

上記で空白のものは、「区分外」、「分類できない」又は、「分類対象外」

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物/汚染容器及び包装

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

廃染料、廃溶剤、廃酸等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

環境に配慮し、空容器は内容物を完全に除去後、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

特別管理危険廃棄物(廃油)に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

「共通」

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

「国内規制」

国連番号 : 1263

指針番号 : 128

《陸上輸送》

消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法に定められる輸送方法に従うこと。

荷送り人は運送業者に運搬注意書(イエローカード)を交付する。

《海上輸送》

船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。

《航空輸送》

航空法に定めるところに従うこと。

《その他》

「国際規制」

国連番号 : 1263

国連輸送名 : 燃料又は燃料関連物(引火性)

容器等級 : III

海洋汚染物質 : 非該当

国連分類 : クラス 3

15. 適用法令

労働安全衛生法施行令 : 危険物(引火性の物)

特定化学物質環境リスク防規則 : 特別有機溶剤等

有機溶剤中毒予防規則 : 第2種有機溶剤等

化学物質管理促進法 : 特定第1種指定化学物質

515-70632 7 / 7

化学物質管理促進法 : 第1種指定化学物質
消防法: 危険物 第4類 引火性液体 第2石油類 危険等級Ⅲ [火気厳禁]
悪臭防止法
労働安全衛生法 第28条第3項
労働安全衛生法 第57条 (表示等)
労働安全衛生法 第57条の2 (文書の交付等)

14. その他の情報

主な引用文献

- ☆SDS用化学物質データベース (日本塗料工業会)
- ☆GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック (混合物用 (塗料用)) (日本塗料工業会)

注意

- ☆このSDSは、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。
- 当該製品の危険・有害性に関する情報および評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。
- ご使用者の責任において安全な取扱い方をお決め下さい。
- ☆このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。
- ☆記載内容の中で含有量、物理的、化学的性質などの値は当該製品の品質とは関係ありません。
- ☆このSDSに記載のデータは、当該製品を代表する値であり、保証値ではありません。
- ☆当該製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、ご使用者において安全性の確認を行ってください。
- ☆この安全情報は国の規制を含む、日本塗料工業会の基準に基づいたものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていません。
- 安全作業や排出・廃棄等の場合に配慮すべきことは、当該自治体の規制に従い対応してください。

安全データシート(SDS) <混合物用(塗料用)>

作成・改訂: 2016/04/15

1. 化学物質等及び会社情報

製品名称 9-8-6624 NY Kクリヤーホワイト

種類 ウレタン樹脂塗料(二液型) 主剤

主な用途 工業用

会社名 ミクニペイント 株式会社

住所 561-0822 大阪府豊中市三國2-2-60

担当部門 技術部 電話番号 (06)-6332-1271

E-mail: info@mikuni-paint.co.jp

担当若手 田頭 純真 FAX番号 (06)-6332-3500

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

【物理化学的危険性】

引火性液体 区分2

【健康に対する危険性】

急性毒性(経口) 区分外

目に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2

急性毒性(経皮) 区分外

呼吸器感作性 区分外

急性毒性(吸入ガス) 分類対象外

皮膚腐作性 区分1

急性毒性(吸入蒸気) 区分4

生殖細胞変異原性 区分2

急性毒性(吸入粉塵・ミスト) 区分外

発がん性 区分2

皮膚刺激/腐食性 区分2

生殖毒性 区分1

吸引性呼吸器有害性 分類できない

授乳への影響 追加区分

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) 区分1 臓器(中枢神経系)の障害

区分2 臓器(肝臓、呼吸器系、腎臓)の障害のおそれ

区分3 眼気又はめまいのおそれ

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)

区分1 長期ないし反復暴露による臓器(腎臓、神経系、中枢神経系)の障害

区分2 長期ないし反復暴露による臓器(呼吸器、骨、末梢神経系)の障害のおそれ

【環境に対する危険性】

水生環境有害性(急性) 区分2

オゾン層への有害性

分類できない

水生環境有害性(慢性) 区分3

【GHSラベル要素】

注意喚起語

危険

絵表示1

絵表示2

絵表示3

絵表示4

絵表示5



危険有害性情報

- ・引火性の高い液体および蒸気
- ・吸入すると有害
- ・皮膚刺激
- ・強い眼刺激
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・発がんのおそれの疑い
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ

- ・授乳中の子に害を及ぼすおそれ
- ・臓器の障害
- ・長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害
- ・水生生物に毒性
- ・長期継続的影響によって水生生物に有害

【注意書き】

- 予防策**
- ・容器を密閉しておくこと
 - ・静電気放電に対する予防措置を講ずること
 - ・保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護衣を着用すること
 - ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと
 - ・環境への放出を避けること
 - ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
 - ・取り扱い後は手洗い、うがいを十分行うこと
 - ・使用前に取扱説明書を読み全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
 - ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること
 - ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること
 - ・火花を発生しない工具を使用すること
 - ・取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること
- 応急措置**
- ・火災の場合には、消火に炭酸ガス、泡または粉末消火器を使用すること
 - ・飲み込んだ場合には直ちに医師に連絡すること
 - ・皮膚に付着した場合には直ちに汚染された衣類を全て脱ぎ、多量の水と石鹸で洗うこと
 - ・眼に入った場合には水で数分間注意深く洗浄すること
 - ・吸入した場合には空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
 - ・気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること・漏出物を回収すること

- 保管 ・容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施設して保管すること
 ・子供の手の届かないところに保管すること
 廃棄 ・内容物/容器を都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること

3. 組成・成分情報 (危険有害成分を対象)

単一化学物質・混合物の区別: 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (Wt%)	毒劇物	表示物質	通知物質	有害物質防止	指定外 の有害 物質	PRTR法対象
トルエン	108-88-3	19	劇物	○	○	○		第一種 300
メチルイソブチルケトン	108-10-1	10~20		○	○	○		
ブレンダリコールモノメチルエーテルアセテート	108-65-0	5~10					○	
酢酸n-ブチル	123-86-4	5~10		○	○			
シクロヘキサノン	108-04-1	1~5		○	○			
キシレン	1330-20-7	3.7	劇物	○	○	○		第一種 80
二酸化チタン	13463-07-7	1~5				○		
エチルベンゼン	100-41-4	2.4		○	○			第一種 53
メチルエチルケトン	78-93-3	1~6	劇物	○	○			
低沸点芳香族ナフタ	64742-95-6	1~5				○		
アクリル酸エチル	140-88-5	0.1~1				○		第一種 3

4. 応急措置

吸入した場合

- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときには、医師に連絡すること。
- ・蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

- ・付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤・シンナーは使用しないこと。
- ・外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受けること。
- ・汚染された衣類を取り除くこと。

眼に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- ・直ちに、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

- ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護

- ・適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋など)を着用する。換気を行う。

5. 火災時の措置

消火剤

- ・炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使用してはならない消火剤

- ・水(様状水、高圧水)

消火方法

- ・適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
- ・可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- ・指定の消火剤を使用すること。
- ・高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
- ・消火活動は風上より行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。
- ・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
- ・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- ・河川への排出などにより、環境への影響を起さないように注意する。

環境に対する注意事項

封じ込めおよび浄化の方法・機材

- ・漏出時は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
- ・衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- ・乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
- ・スコップ、ウエス等で回収する。水での洗浄などでも、河川などへの排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い**
- ・換気の良い場所で取り扱う。
 - ・容器はその都度密栓する。
 - ・周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
 - ・作業中は荷電防止型の作業服、靴を使用する。
 - ・静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
 - ・工具は火花防止型のものを使用する。
 - ・使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。
 - ・密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
 - ・皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
 - ・取扱い後は手・顔等はよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を押し込まない。
- 保管**
- ・日光の直射を避ける。
 - ・通風のよいところに保管する。
 - ・火気、熱源から遠ざけて保管する。

8. 暴露防止および保護措置

物質名	管理濃度	許容濃度		ACGIH TWA	ACGIH STEL
		ppm	mg/m ³		
トルエン	20 ppm	50	188	20 ppm	
メチルイソブチルケトン	20 ppm	50	200	50 ppm	75 ppm
酢酸n-ブチル	150 ppm	100	475	150 ppm	200 ppm
シクロヘキサノン	20 ppm	25	100	20 ppm	50 ppm
キシレン	50 ppm			100 ppm	150 ppm
二酸化チタン				10 mg/m ³	
エチルベンゼン	20 ppm	50	217	100 ppm	125 ppm
メチルエチルケトン	200 ppm	200	590	200 ppm	300 ppm
アクリル酸エチル				5 ppm	15 ppm

- 設備対策**
- ・取扱い設備は防爆型を使用する。
 - ・排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
 - ・液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースをとるように設備すること。
 - ・取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
 - ・屋内塗装作業の場合は、自動換気機等を使用する等作業者が直接暴露されない設備とすること、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。
 - ・タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。
- 呼吸器の保護**
- ・有機ガス用防毒マスクを着用する。
 - ・密閉された場所では送気マスクを着用する。
- 手の保護**
- ・有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- 目の保護**
- ・取扱いには保護メガネを着用すること。
- 皮膚および身体の保護具**
- ・取扱う場合には、皮膚を直接暴露させないような衣類を着けること、また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
- その他**
- ・静電塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

性状・状態	液体
性状・色	指定色
臭い	溶剤臭あり
pH	・該当せず
融点・凝固点	・情報なし
沸点・最低	79℃
引火点	17℃
爆発下限	1.1%
蒸気圧	9492Pa(20℃)
蒸気密度	・情報なし
比重(密度)	・情報なし
溶解度	不溶
n-オクタンール/水分分配係数	・情報なし
自然発火温度	333℃
分解温度	・情報なし
蒸発速度	・情報なし
臭いの閾値	・情報なし
燃焼性(固体・ガス)	・情報なし
その他	

10. 安定性及び反応性

- 安定性**
- ・標準的な条件では反応しない。

- 避けるべき条件
 危険な物質
 危険有害な分解生成物
 その他の危険性情報
- ・情報を有していない
 - ・情報を有していない
 - ・CO や NO_x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
 - ・この製品を含んだ布・紙・ハケ・ローラー・ダストなどを堆積したり丸めたまま放置しないこと。

11. 有害性情報

物質名	急性毒性										その他
	LD50 (経口)	LD50S (経皮)	皮膚	眼	呼吸	皮膚	呼吸	皮膚	呼吸	皮膚	
トルエン	5000	12000	2	2				1	1	3	1
メチルイソブチルケトン	2080	16001	2					2		3	1
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	9533	5001	2							3	
酢酸n-ブチル	14130	17600	2							2	
シクロヘキサノン	1296	947	2	2		1	2	2	1	2	3
キシレン	3500		2	2				1	1	3	1
二酸化チタン	20001	10001	2								
エチルベンゼン	3500	15400	3	2				2	1	2	3
メチルエチルケトン	2483	5001	2	2				1	2	3	1
低沸点芳香族ナフサ	8400										
アクリル酸エチル	687	1780	1	1		1	2	2	1	3	1

LD50:経口急性毒性LD50 mg/kg 体重(主としてラット)、LD50S:経皮急性毒性LD50 mg/kg 体重(主としてラットまたはラビット)、
 皮膚・皮膚腐食性・刺激性、眼・眼に対する重篤な損傷・刺激性、呼吸器・呼吸器感作性または皮膚感作性、皮膚・皮膚感作性、
 変異・生殖細胞変異原性、発癌・発がん性毒性、毒性・生殖毒性、
 単1・2・3:特定標的臓器・全身毒性・単回・暴露区分1・2・3、反1・2:特定標的臓器・全身毒性・反復・暴露区分1・2、
 吸引:吸引性呼吸器毒性

その他の有害性情報
 ・製品としての安全性試験は行っていない。

12. 環境影響情報

- 環境影響情報
 ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
 ・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
- 生態毒性
 ・情報を有していない
- 残留性・分解性
 ・情報を有していない
- 生態累積性
 ・情報を有していない
- 土壤中の移動性
 ・情報を有していない

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物
 ・廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。
 ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
 ・排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
 ・廃塗料などを焼却処理をする場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または、焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、グイオキシンのような有害ガスが発生する恐れがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。
 ・特別管理産業廃棄物(廃油)に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
 ・塗料製品、廃塗料および焼却灰などの一部は、特別管理産業廃棄物の「特定有害産業廃棄物」に該当するので、廃棄は廃棄物の処理および清掃に関する法律に準拠して行うこと。
- 汚染容器および包装
 ・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
 ・空容器は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。

14. 輸送上の注意

- 共通
 ・取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。
 ・容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
- 国内規制 陸上輸送
 ・消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
 ・荷送り人は運送者に運搬注意書(イエローカード等)を交付する。
- 海上輸送
 ・船舶安全法に定めるところに従うこと。
- 航空輸送
 ・航空法の定めるところに従うこと。
- その他
 ・運搬に際しては、容器を40℃以下に保ち、転倒、落下、損傷がないように注意すること。
- 国際規制 国連番号 1263
 国連輸送名 塗料および塗料関連材料(シンナーを含む)
 国連分類 クラス3(引火性液体)
 容器等級 II

15. 主な適用法令

- ・消防法:危険物 第四類第一石油類
- ・有機溶剤中毒予防規則:第2種有機溶剤
- ・労働安全衛生法:危険物 引火性のもの
- ・特定化学物質等障害予防規則:

メチルイソブチルケトン(第2類物質、特別有機溶剤等)

エチルベンゼン(第2類物質、特別有機溶剤等)

- ・労働安全衛生法 57条 表示物質⇒(【3.組成・成分情報】を参照してください。)
- ・労働安全衛生法 57条-2 通知物質⇒(【3.組成・成分情報】を参照してください。)
- ・悪臭防止法:特定悪臭物質⇒(【3.組成・成分情報】を参照してください。)
- ・化学物質管理促進法:第1種指定化学物質⇒(【3.組成・成分情報】を参照してください。)
- ・船舶安全法:
- ・航空法:
- ・海洋汚染防止法:未査定物質
- ・その他関連法規:
 - 作業環境測定法
 - 水質汚濁防止法
 - 廃棄物処理法
 - 大気汚染防止法
- ・建築基準法:ホルムアルデヒド放散等級 0 登録No.

16. その他の情報

- ・日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」日本塗料工業会
- ・製品安全データシート・ガイドブック[混合物用(塗料用)]日本塗料工業会
- ・公表GHS分類結果 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)
- ・原料メーカーからの情報(SDS等)

注意

- ・このSDSは、現時点で入手した資料、データに基づいて作成しております。当該製品の危険・有害性に関する情報及び評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも充分なものではありません。ご使用者の責任において安全な取扱い方法をお決め下さい。
- ・このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。